



平成24年8月30日
国立大学法人 東京大学
次世代宇宙システム技術研究組合

ほどよしプロジェクトの超小型衛星「機器搭載スペース」利用事業者が決定

東京大学大学院工学系研究科・中須賀真一教授が中心となり進めている最先端研究開発支援プログラム「日本発の『ほどよし信頼性工学』を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」（以下「ほどよしプロジェクト」）では、平成22年3月のプロジェクト開始以来、超小型衛星の技術、利用における最先端研究を実施し、また、大学・企業がそれぞれの強みで参加できるオールジャパンの研究開発利用体制を構築することで、超小型衛星分野における日本の世界一の地位を確実なものとするを目的にして研究を進めております。

今回、去る6月22日に公募を実施致しました、ほどよしプロジェクトにて3、4基目として開発している人工衛星「ほどよし3号、4号」に設けられる「機器搭載スペース」の利用事業者を、「株式会社博報堂 / 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ」と決定いたしました。

「機器搭載スペース」とは、利用者が自由に利用できる人工衛星内に設けられた空間です。空間内に利用者が電子機器、広報・メディアツール等を搭載し、その衛星を打ち上げることで宇宙空間での機器の動作評価等を実施することができます。

同機関を利用事業者に選定した理由は、同機関による提案内容が、公募要綱に記載した審査基準である「国民、及び社会への還元が十分に見込める内容であること」「従来にない衛星利用者を開拓できる内容であること」「実施体制が確立されており、実現する能力・見込みが高いこと」「応募された搭載品の衛星への適合性、安全性が確認出来ること」において、非常に高い評価を得るものであったことによります。

今後、ほどよしプロジェクトでは、利用事業者とともに「機器搭載スペース」を活用した衛星利用市場開拓のフェージビリティ検証を進めて参ります。

ほどよし3号、4号は平成25年末に打ち上げ予定であり、引き続き開発を進めて参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

参考：

6月22日実施

プレスリリース 「超小型衛星の「機器搭載スペース」利用事業者公募のご案内」

<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/epage/release/2012/12062201.html>

問い合わせ先

東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻

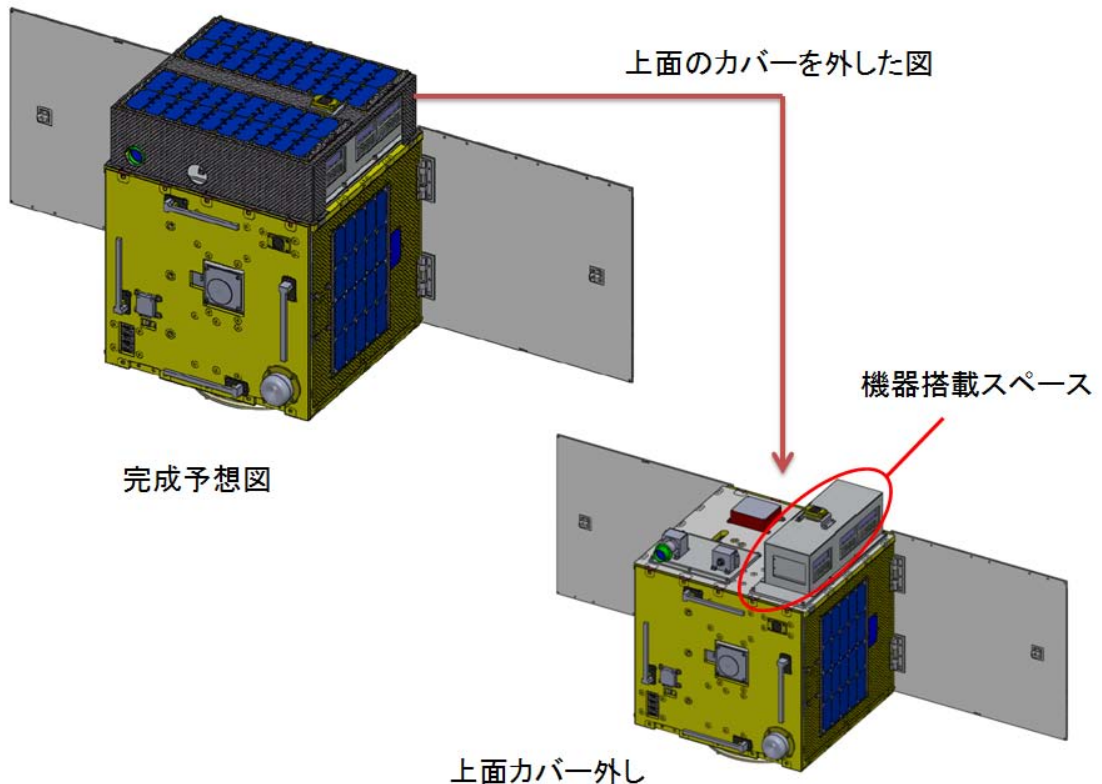
田中利樹 (たなか としき)

TEL:03-5841-6972 FAX:03-5841-6976

Email: toshiki@nsat.t.u-tokyo.ac.jp

■ 「ほどよし衛星」3号、4号の主な特徴

- ・ 大きさ 50cm×50cm×50cm 程度
- ・ 重さ 約50kg
- ・ 操作方法 無線通信で地上から衛星を操作／衛星からの情報も地上で取得可能
- ・ 軌道 高度400～1000km／約90分で地球を一周
- ・ 機器搭載スペース 1ユニット 10cm×10cm×10cm
(一基あたり2ユニット)
1ユニットあたりの積載可能重量は500g以内



以上